



わが校の一徳運動



日宇中学校では、毎年2年生が日宇川清掃を行っています。この行事は、日宇川の清掃をとおして、地域の理解を深めると共に、自然環境と自分たちの生活の在り方について考えさせるねらいをもつて行っています。

そのため、協力いただく「日宇川水すましの会」の方々には、午前中に1時間の講義をしていただいています。その中で、「日宇川の歴史・環境・生き物」についての話を聞いていただきます。生徒たちは、講師の方の話に静かに耳を傾け、新しい知識に目を輝かせながら、日宇川清掃の意義についての理解を深めています。午後からは、生徒190名、教員12名、水すましの会10名ほどで3か所に分かれて、約2時間の日宇川清掃活動を行います。また暑い中、軍手・長靴で分別しながら一生懸命取り組みます。毎年最終的には、軽トラック2台分のごみが集まり、その量に驚くとともに、自分たちの活動が日宇川をきれいにできたという達成感を味わっています。

こうした活動をおして、地域のために頑張っている方々への感謝の心で、日宇川にとどまらず、故郷の素晴らしい地域の自然環境に関心をもち大切にしていきたいと思います。

佐世保市立日宇中学校 校長 千代島 泉

わが社の一徳運動



弊社では5年前より毎年2回幼稚園（2施設）のごともたへ格安にて飲み物を提供させて頂いております。価格は1本5円にて提供させて頂いており、これは運動会や行事など子どもたちが脱水症や熱中症にならないようにごちから提供させて頂いております。2つの施設様からは大変好評をいただいております。

これからも地域のため、子どもたちのために協力できることを考えて「徳育推進」に繋がる、貢献できるような企業としても努力していきたいと思っております。

西日本かなえペプシコーラ販売株式会社 取締役部長 木下 貴之

わが家の一徳運動

私の家は、高校2年生の長女から幼稚園年長の三女まで4人の子どもと私と奥さんの6人家族です。私の家庭における子育てや家事を通してのルールは「奥さんや子どもと一緒に家事/育児を行うことです。」

私の一日は、朝起きて「おはよう」と家族全員と挨拶し、子どもを送って仕事へ行く。早く帰る日はご飯を作り、奥さんが洗いの物をする間に、幼い三女と風呂に入ります。洗濯物は長女、次女と一緒に干すのが日課です。平凡な毎日におけるルールは「わが家の一徳とするにはおがましいかも知れませんが、できることを一緒に少しずつやって、みんなが幸せな気分となるのが理想です。が、夕方仕事から帰って家事をする奥さんの忙しい毎日を変えることは難しく、忙しいはずの奥さんかどうかがどういわれるとムス痒く感じます。

奥さんや子どもと一緒に家事/育児は会話を生み、家庭におけるコミュニケーションの一役となっています。

また、家事を一緒にやる会話を楽しむことで何かをしなければならぬ。という負担感から「何かをする」という子供たちの能動性、積極性へ変わっているように感じます。

家庭において、子どもに伝えること・親が学ぶことは多く、一緒に家事/育児を行います。がら子どもと共に成長したいと考えます。

佐世保市PTA連合会 副会長 知名 睦人

わが地域の一徳運動

私が住む榊木地区では、子どもたちを中心とした「あいさつ運動」を励行しています。

中学校には、生徒会、育友会がそれぞれ一徳目標を定め、笑顔とあいさつが溢れる地域づくりを目指して様々な徳育活動に取り組んでいます。

榊木中学校の校門をへぐる、一校門の一步は、学習の第一歩」という石碑があります。これは榊木中精神と言われ、「二日校門をくぐれば、すべて自己研鑽、自己鍛錬の糧として真摯にそして一心に学べ」という基本理念が込められています。

「笑顔であいさつし、自分を律する」という徳の心を育てる気持ちに溢れるこの榊木を私たち大人が支え、私たちがだけでなく、子どもたちがこれから先も榊木を大切に思ってくれるように、徳育のまちづくりの一役買っていければと思います。



佐世保地区公立高等学校PTA連合会 山中 隆常

徳育

佐世保徳育推進会議



第7号



発行日 令和元年12月10日
発行 佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
住所 栄町4番11号サンクル1番館2F
TEL/FAX (0956) 23-2856
E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

「大人の徳育」再考

佐世保徳育推進会議 会長 木村 勝彦

佐世保市民の皆様には健やかにお過ごしのことと拝察いたします。「徳育通信」第7号の発刊に寄せて、一言ご挨拶申し上げます。



さて令和の時代最初となった「第10回徳育推進フォーラム」は、「進むネット社会での徳育を考える」をテーマに掲げ、令和元年9月28日に開催されました。多様なメディアの出現やSNSの普及によって急速に進む現代のネット社会は、私たちの生活のありようを大きく変貌させ、従来見られなかったような価値観の登場さえももたらしています。そうした状況において徳育推進活動が対処していくべき課題を確認し、便利さの裏に潜む危険から子どもたちをいかにして護るかについて、有益な議論が展開されました。爽やかな秋晴れに恵まれて多くの皆様にご来場いただき、佐世保徳育推進活動のあるべき方向性について、共に考えることができたように思います。

ところで、このところ私たちの心を波立たせずにはおかない悲惨な社会現象の一つに、幼い子どもたちが本来その生命、精神、身体を篤く保護し慈しむべき立場にある大人たちから、実に身勝手に許し難い理由により激しい虐待を受け、剩え命を奪われてしまいさえするという出来事があります。これほど非人道的・利己的で、非難すべき親、保護者が続出する時代が果たしてあったらと思うほどのです。しかもそうした親、大人たちが自己の行為を正当化して必ずと言ってよいほど主張するのが、「しつけのためだった」ということです。しかし、しつけを振りかざす、そうしたしつけのなされていない大人たちは、実は他ならぬ私たち自身の社会の産物なのです。国家、社会の宝として無条件に慈しまれるべき子どもたちの恐怖と苦難に、私たちは非常に大きな心の痛みと共に、連帯責任を負わなければならないのではないのでしょうか。

江戸時代の思想家である林子平は『父兄訓』の中で、「人の善悪と実不実とは、生れ付きにはあらず。只父兄の教訓、取扱いにあることなり」と述べた上で、子どもを教育すべき大人たちがまず「身自ら行いて、子弟を化す」べきだと主張します。そして子どもに対しては、「丁寧に言い聞かせ」、「親切に教え立つこと肝要なり」と、大人を強く戒めております。林子平の思想は極めて単純平明ですが、この佐世保徳育推進活動が目指す「大人の徳育」の核心が捉えられているような気がいたします。今一度、「大人の徳育」について考えてみるべき時代が来ているのではないのでしょうか。

賛助会員を募集しています!!

賛助会員とは、佐世保徳育推進会議が推進する徳育推進事業の趣旨に賛同していただける方、また本会議の運営を支援していただける方のことをいいます。

佐世保徳育推進会議では当会の趣旨をご理解していただけるたくさんの賛助会員を募集しています。

- 会費(年会費・口数は自由です)
- 個人…1口1,000円 ●法人・企業…1口5,000円
- ご賛同いただける方には、入会手続き「賛助会員加入申込書」をお送りします。詳しくは当事務局へご連絡ください。

ソシアル淳心ファッションビジネス専門学校	佐世保フロンティア法律事務所	簡古賀文具店	榊長崎地研
榊立山印刷	小川正之	黒石英二	永石 誠
山口政則	松下 昇	岩崎けい子	岩元一英
		須崎満広	小野 茂
		竹本進一	匿名希望

(敬称略)

第10回【令和元年度】 徳育推進フォーラム

令和元年9月28日(土)

(於) 佐世保市体育文化館コミュニティセンター

座談会「市長と語ろう ネット社会の徳育を」



《座談会進行役》
佐世保徳育推進会議
副会長
中倉まち子

令和元年第10回目となります「徳育推進フォーラム」では、朝長市長をはじめ長崎メディア安全指導員の岩崎けい子先生、徳育推進会議委員宮中学校校長の柳原秀一先生、同じく徳育推進会議委員佐世保商工会議所青年部会長の池田宗丈さんをお迎えし座談会を開催しました。

近年、大きな社会問題となっている「新しいメディア技術の発達について」岩崎先生にご講演いただきました。先生のお話は軽快な口調でユーモアを混じえながらわかり易く大変興味深い内容でそれぞれの立場から、ご意見・具体的な事例発表など、議論全般を非常に有意義なものとしていただきました。

情報化社会による子どもたちを取り巻く環境は著しく、心や身体に様々な影響を及ぼしています。ネットから発信される有害情報によるリスクは計り知れず、生活習慣の乱れ、自制心や規範意識の希薄化、人間関係を形成する力の低下、そして乳幼児の成長に影響しているスマホ子育ての実態「全ては大人が作り上げたネット社会です！」昔の子どもたちに比べて一層心の成長を支える基盤となる環境が悪化していると言わざるを得ない。利己主義的な大人社会の風潮が進展してきている状況が、今まさに直面している現状です。こうした現状を考えていく上で、このテーマがいかに重要な、そしてまた関心の高いものであるかということに改めて実感させていただきました。

今、私たち大人に必要なことは、今の子どもたちが大人になる時代を考え、大人としての子どもの徳性を育むことの責任の根本に立ち回り何が出来るかを考えて実践することではないかと考えます。大人一人ひとりが模範を示し、子どもたちに「おもしろい心」や「豊かな心」といった人間性を養うために、社会全体で徳育を推進する必要があるのではないのでしょうか。

長崎県メディア安全指導員 岩崎けい子



今回このフォーラムに参加させていただくことができたことに関係各位の皆様方に感謝申し上げます。

私は、長崎県メディア指導員として活動を続けて10年になります。子どもとPTAに関わっている時に

この話しをお受けして、研修に行って衝撃を受けたのを覚えています。親としてこの情報を少しでも皆さんと共有したく、日々勉強させていただいています。何事でもそうだと思うのですが、自分がその立場にならないと耳を傾けない。被害にあって初めて被害者の気持ちがわかる。そこまで行かなくても、誹謗中傷にあって初めていじめの気持ちがわかる。メディアの危険性を伝えても納得はするが、でも他人事。だからこそ、このメディアの話は繰り返し、繰り返し伝えていかなければならないと思っています。

「ママのスマホになりたい」という絵本はご存知でしょうか。ママは僕には忙しいと言いながらスマホばかり見ている。ママは僕よりスマホの方が好きなんだ。僕はママのスマホになりたい。と言う内容の絵本です。子どもにこの言葉を言わせてしまうと、涙が出てきそうです。まさに徳育です。大人は子どものお手本です。子どもは大人のマネをします。この子は自分が大人になって、子どもが出来たらどんな子育てをするのでしょうか。

時間が足らず話したりないぐらいの今回のフォーラムでしたが、参加者の方々からいろいろな声を聞くことができ、私自身大変勉強になりました。ありがとうございました。

佐世保徳育推進会議総務部 柳原 秀一



第10回を迎える徳育フォーラムは「進むネット社会での徳育を考える」がテーマ。ソサイティ5.0社会を迎える今として最適なものでした。今回パネリストとして参加することになり、自分なりに勉強させていただく機会を与えていただきました。大変感謝しております、ありがとうございました。

私は中学校教員の立場から発言しましたが、学校現場における情報教育やメディア教育の重要性を再認識いたしました。岩崎メディア指導員様の講演にもありましたが、メディア機器の使い方、特に学習面や健康面への弊害については漠然とした不安を感じておりましたが、今回その不安は危機感へと変わりました。市内小中学校児童生徒の数値からは、マスコミ等で報道される問題点は他人事ではなく、私たち佐世保市民のすぐ横にある喫緊の課題であることも明確になりました。

事件事故が起きたら、大人たちは大騒ぎしその責任の所在を追求することに躍起になりますが、まずは脚下照顧。我々大人一人ひとりが他者を尊重し、感謝と思い遣いをもち「徳育力」を高めることが、現実社会だけでなく匿名性が高いネット社会においても「徳育力のある日本人」を育成することに繋がっていくものと信じております。

ネット社会での徳育は何ら新しいものではないと思います。考えるべきは以下の3点だと思います。1つ目は、大人が徳育力を身につけること。匿名性に隠れて無責任な発言や誹謗中傷、根拠のない情報を拡散しないこと。2つ目は、我が子に買い与えるなら最後まで責任を取る覚悟を持つこと。賠償問題に発展することもありえるということ。3つ目は、子どもにとって精神面・健康面での発達と発達に大きな弊害があるということ。

最後に。人間関係の基本は、①顔と顔を合わせて言葉のやり取りをして、②相手を認めながら誠実さをもって意志の疎通を図ること、が一番大切なのではないのでしょうか。

佐世保市長 朝長 則男



このたび、徳育推進フォーラムの座談会にお招きいただき、徳育に対する思いを話す機会をいただくとともに、各方面において活躍されている方々の貴重な意見をお聴きすることができましたことに、心から感謝の意を表します。

佐世保市において「徳育」の取り組みを推進しておりますのは、現代社会ではインターネットなどで世界中とつながることができるようになり、柔軟で豊かな感性を持つ若者が増えてきている一方で、人と人との絆の希薄化が進んできていることに理由があります。

今回、岩崎氏の講演の中で、何気なくSNSにアップロードしたペットの写真的眼珠に写る景色から個人が特定される危険など、衝撃を受ける内容もあり、メディアが持つ功罪というものを改めて認識することができました。

便利な世の中になってまいりましたが、それを使う人間の側が、その土台となる徳の心を持って社会を作ること、心豊かな人が育っていくのではないかと考えています。

ただ、これは一朝一夕にはいきません。これからこの「徳育」の大切さを伝え続けていくことこそが、「徳育推進のまち」佐世保を作っていくものと考えております。

このたびは、誠にありがとうございました。

佐世保商工会議所青年部会長 池田 宗丈



今回、「メディアの安全指導について」と題し、岩崎先生に講演をいただいた後の座談会「市長と語ろう ネット社会の徳育を」をテーマに登壇させていただきました。私も日頃からネット環境が急速に進化する中、子供たちにとってどのように指導すべきなのか考えていたところ、徳育推進会議に入会し、初めて長崎県にメディア安全指導員があることを初めて知りました。岩崎先生の講演の内容は、とても現実的な話ばかりで、とても参考になりました。

私が感じたことは、メディアの指導について、子どもたちへの指導も大事ですが、大人がメディア指導をしっかりと理解し子どもと接しなければいけないと感じました。近年は、食事中に大人が携帯に触れている時間が多いと感じます。それを見て子どもたちが親と一緒に行動を取っているだけではないでしょうか。私も一人の父親として、しっかりと子どもと向き合い会話を充実させ、愛情を込めて育てたいと思います。

また、企業側としても若い世代の方は、携帯でゲームをする新入社員が増えています。企業研修では、組織で動く仕事なので、コミュニケーションの取り方を中心に教育を行っています。ただし、働き方改革で生産性を向上させ、休日を増やさないといけない時代を迎えました。どうしてもIPADや携帯電話は、必需品になりますので、その使用方法については報告する時だけ活用させています。このように企業としては、使用方法について教育を行いますが、やはり小学生・中学生・高校生の段階でメディアの安全指導をしっかりと教育すべきだと感じます。

これからも企業の立場として、学校の先生や子どもたちとこれからのネット社会の徳育を推進していければと思っています。



〈標語コンクール表彰〉



〈マナー講座〉
大鳥居祥子講師



〈佐世保市歌合唱〉
佐世保商工会議所女性会・大宮幼稚園 園児の皆さん

●座談会について

- ・メディアに関する無知と孫たちの未来はどうなるのかを恐ろしく感じます。もちろん、いい方、素晴らしいこともあるとはわかりますが、正しい使い方をもっと指導する必要があるようですね。
- ・メディアの安全性について、いろいろな機会に聞くことが増えてきましたが、まだまだ、知らないことがありました。そして、年々新しいことが良いことも危険なことも併せて増えていると感じます。便利なツールではありますが、コミュニケーションが不足するので、徳育という原点に返って見直していかなければいけないと思います。

●徳育推進フォーラムや今後の徳育推進についての意見

- ・大人のマナーがなってないというお話を聞いて同感しました。若い人にもいますが、お年寄りのマナーももっと問題視されてほしい。
- ・「徳育」の意味をはじめよくわかりませんが、話を聞きながら今の時代、これからの時代においてより大切なことだと思います。
- ・徳育カレンダーを毎日見て、穏やかな気持ちです。今のままで続けてほしいと思います。毎月の標語をみて、作品のすばらしさに感動しています。心が温かくなり、良い環境で心が育まれるだと感じます。
- ・カレンダーの徳育標語は、それぞれ優れた作品です。これらの作品を佐世保市民の子どもから大人までいかに実行してもらえるかの課題と徳育をわかりやすく推進（宣伝）をする必要があると思います。

令和元年9月28日(土)
620名が参加して盛大に
開催された記念すべき、
第10回徳育推進フォーラム、
皆さま方からいただいた感想の
一部を紹介いたします。

あなたの聞いて徳する話募集します!!

広報させほ「徳育通信」コーナーから、あなたが身の周りで見つけたり感じたりした「聞いたら心が温まる話」を募集します!

日常のほんの小さなうれしい出来事や、ぜひ皆さんに聞いてほしい徳育に関するお話など、あなたの「聞いて「徳」する話」お聞かせください!

採用された方のお話は、広報させほ「徳育通信」コーナーに随時掲載させていただきます。

■応募方法

応募用紙に必要事項と400字以内のお話を書き込み、佐世保徳育推進会議事務局宛にお送りください。FAX・E-mailでの応募も受け付けております。また、ご質問・ご感想等もお待ちしております。応募用紙は佐世保徳育推進会議事務局ほか、佐世保市のHP、社会教育課で配布しております。

■ご不明な点はお気軽にご質問ください。

佐世保徳育推進会議事務局
TEL/FAX (0956) 23-2856
E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

徳育啓発新聞『徳育』（本紙）のバックナンバーはコチラから。
フォーラムの歩み、地域での取り組みなど、徳育のヒントが盛りだくさんです！ぜひご覧ください！

